

南の風

- ・巻頭言
- ・なかよし集会、読書旬間
- ・市小学校音楽交歓会
- ・12月の予定



令和6年度に向けて～まずは校時表から見直します～

校長 若狭 陽一

保護者の皆様には、11月8日付けで、働き方改革についての文書を出させていただきました。今回は、もう少し踏み込んだお話をさせていただきます。

令和6年度に向けて、校時表を見直します。これには、2つの大きな理由があります。一つは、当校職員の働き方の課題によるもの、もう一つは、国の通知によるものです。

【当校職員の働き方の課題】

下は、今年度の校時表です。基本的には6校時まで授業があります。5校時で下校する学年の担任

	月	火	水	木	金
8:10~ 8:30	朝読書 健康観察等	朝読書 健康観察等	フッ化物洗口 健康観察等	朝読書 健康観察等	朝読書 健康観察等
8:30~ 9:30	1校時 (60分)	1校時 (60分)	1校時 (60分)	1校時 (60分)	1校時 (60分)
9:35~ 10:20	2校時 (45分)	2校時 (45分)	2校時 (45分)	2校時 (45分)	2校時 (45分)
	20分休み	20分休み	20分休み	20分休み	20分休み
10:40~ 11:25	3校時 (45分)	3校時 (45分)	3校時 (45分)	3校時 (45分)	3校時 (45分)
11:30~ 12:15	4校時 (45分)	4校時 (45分)	4校時 (45分)	4校時 (45分)	4校時 (45分)
12:15~ 13:05	給食 歯磨き	給食 歯磨き	給食 歯磨き	給食 歯磨き	給食 歯磨き
13:50~ 14:05	昼休み クラスタイム	昼休み 清掃	昼休み	クラスタイム	昼休み 清掃
14:10~ 14:55	5校時 (45分)	5校時 (45分)	5校時 (45分) 学級終会	5校時 (45分)	5校時 (45分)
	学級終会	学級終会		学級終会	学級終会
15:05~ 15:50	クラブ 委員会	6校時 (45分)		6校時 (45分)	6校時 (45分)
下校時刻	15:10 1~4年 16:00 5~6年	15:10 1~2年 16:00 3~6年	14:55 全学年	15:10 1~3年 16:00 4~6年	15:10 1~2年 16:00 5~6年

であっても、6校時は他学年の授業や下校指導等にあたります。よって、児童が完全下校し、担任が教室等の後片付けを済ませた後に、教務室に集まれる時刻は、16:10になってしまいます。職員の勤務は、16:40までですので、30分で授業以外の業務を行う必要があります。例えば、次の日の授業準備をしたり、プリント類の丸付けをしたり、行事や校外学習の準備をしたり、お便りを作成したり、職員同士の打ち

合わせをしたり、生徒指導対応をしたり・・・。当然、30分で終わる内容ではないため、時間外勤務が常態化してしまっているのです。定時に帰宅するように促しても、結局は仕事を家庭に持ち帰ったり、休日出勤したりすることとなり、根本的な解決にはなりません。そこで、児童の下校時刻を早め、次の日の授業準備をしたりする時間を確保する必要があります。

【国の通知】

多種多様な業務に追われるあまり、時間外勤務が常態化する中で教員志願者の減少が危機的な状況にあることはご存知のことだと思います。そこで、国は、学校や教師が担う業務の適正化を推進

するための通知を9月に出しました。授業時数の見直しも具体的に示されています。それは、「令和5年当初において、標準授業時数を大幅に上回って（年間1,086単位時間以上）いる学校は、令和6年度以降見直さなければならない」（要約）というものです。

国は全国の学校に対し、一律に標準授業時数（行事や児童会活動を除く）を定めています。例えば、国語は年間〇時間、算数は年間△時間のように、学年毎に定めています。当然、学年が上がるにつれて各教科を合計した授業時数は増えていきます。

では、国が警笛を鳴らしている「1,086時間」とはどのようなものなのでしょうか。これは、授業時数の最も多い高学年の場合を言っています。高学年の各教科合計の標準授業時数が1,015時間ですから、「1,086時間－1,015時間で、71時間オーバー」は見直さなければならないこととなります。下表のとおり、当校5年生は、見込みでは「139時間オーバー」となっています。さらに、1年生に至っては、「175時間オーバー」です。これを1日の授業時間の5で割ると、34（日）になりますので、極端な話をすれば、1年生は夏休みをもう1か月増やしても標準授業時数は守れるということになります。

ではなぜ、当校をはじめ、全国の学校がこのように大幅に標準を上回る授業時数を確保してきた

	標準授業時数	学校行事等	南小標準時数	R5南小実績見込み	オーバー
1年	850	38.5	888.5	1064	175.5
2年	910	38.5	948.5	1069.7	121.2
3年	980	38	1018	1132.7	114.7
4年	1015	38.5	1053.5	1184.7	131.2
5年	1015	52	1067	1206.7	139.7
6年	1015	63	1078	1206.7	128.7

のでしょうか。それは、新型コロナウイルス感染症等の影響で、長期間の学校閉鎖を行ったとしても耐えられるようにというのが一番大きな理由です。さらに、放課後の受け皿の不備もあったでしょう。低学年児童が早く下校すると面倒を見る大人がいなかったといった社会的な課題です。

しかしながら、感染症がある程度収束した現状においては、国の通知どおりに、南小学校は、令和6年度の授業時数を減らさなければなりません。

※学校行事や児童会活動の時数は各校に任されています。

※南小学校標準時数は、国の標準授業時数と、南小学校の裁量で必要とされる学校行事等の時数を合計したものです。

【校時表見直しの視点】

以下、4点について見直しを進めます。

- ①全校5校時で下校する日を週2日とします。
- ②毎日5校時で下校する1年生については、週1日だけ、4校時・給食後下校の日をつくります。
- ③小学校の1単位時間は45分です。「毎日の1校時」を60分から45分にします。
- ④休み時間等も見直します。

これにより、5校時の日、6校時の日それぞれにおいて、令和6年度は令和5年度よりも20分程度早く下校することになります。

そこで起こるご家庭での大きな問題は、児童が早く下校した際の受け皿だと思えます。教育委員会からも本見直しについては了承を得ており、「児童クラブや寺子屋の児童預り開始時刻は、南小学校の新しい校時表に合わせたものに変える」という回答もいただきました。

校時表の見直しは、教職員がゆとりをもって業務に当たることで、児童への教育の質を上げることが目的です。保護者や地域の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。なお、具体的なR6年度校時表につきましては、1月に示させていただく予定です。